B1b

RAG：資料を根拠に答えさせる

中級：AIに「資料室」を持たせ、資料を根拠に答えさせる（Gemini Notebook）

更新日：2026-10-03（2026年10月時点の情報）｜HUMAC 伊藤晴通

このページの位置づけ

RAG（中級）：頼み方に「根拠にする資料」を足すと、AIは資料を指さしながら答えるようになる。頼み方の基本は B1a AIへの頼み方の基本（初級）。

スマホでQRを読み取ると、そのままAIが開きます（ログインはご自身のGoogleアカウント等で）

ChatGPT	Gemini	Gemini Notebook	Claude
chatgpt.com	gemini.google.com	notebook.google.com	claude.ai

アプリ版（App Store／Google Play）を入れておくと、次からはアプリで開けます。

1. RAG（ラグ）とは

RAG＝検索拡張生成（Retrieval-Augmented Generation）。AIに「資料室」を持たせ、**答える前に資料を調べ、その内容を根拠に答えさせる仕組み。**

ふつうのAI＝記憶で答える物知りな人

- インターネット全体から学んだ記憶で答える
- 知らないことも、もっともらしく答えてしまう（ハルシネーション）
- あなたの会社の規程・取引先との取り決め・最新の制度は知らない

RAG＝棚から資料を出して答える司書

- 登録した資料だけを調べて答える
- 「どの資料の、どこに書いてあるか」を指さして示す（出典）
- 資料にないことは「書いていない」と答える

RAGの価値は「答えないこと」にある

制度・契約・社内ルールのように**「根拠はどこか」が問われる仕事**では、それらしい作り話は致命的。棚にない本を「ない」と言える司書こそ、専門職の相棒になる。

2. Gemini Notebook（旧NotebookLM）で体験する

プログラムなしで、誰でもRAGを体験できる道具。Googleアカウントがあれば無料で使える。

1. **ノートブックを作る**
   notebook.google.com（旧notebooklm.google.comから自動で移動。Geminiアプリからも開ける）
2. **資料を入れる**
   PDF・Word・Webページ・音声・動画など（無料で1ノート50資料）。スマホは「共有」から追加できる（→ 7）
3. **質問する**
   答えの中の番号をクリックすると、根拠の箇所が開く
4. **共有する**
   職場の仲間に共有すれば、全員が同じ根拠で答えられる

3. 例：資料室の「◯◯係」をつくる

自社の資料（就業規則・マニュアル・取扱説明書・見積書の雛形など）で作るのが本番。ここでは、誰でも手に入る公開資料として**補助金の公募要領**で体験する（どの業種の会社も対象になりうる制度で、内容が長く、根拠探しの練習に向いている）。

入れる資料：最新の公募要領、よくある質問集、申請様式、（あれば）過去の公募要領

試しに使える資料：小規模事業者持続化補助金＜一般型 通常枠＞第20回（商工会地区）

スマホで読み取るとPDFが開きます

公募要領（第8版・PDF）をダウンロード
2026年7月21日版・約1.6MB

申請・公募要領のページ
新旧対照表・様式もここから

よくあるご質問
Webページのまま追加できる

出典：小規模事業者持続化補助金事務局（商工会地区）。商工会議所地区の方は 商工会議所地区の事務局サイトから。公募回ごとに版が変わるので、使う前に最新版か確かめてください。

スマホなら「共有」から、そのまま Gemini Notebook に入れられる

Gemini Notebook のアプリ（iPhone・Android）を入れておくと、PDF・Webページ・YouTube を**ダウンロードしてパソコンに移さなくても**、スマホの「共有」ボタンからソースとして追加できる。

1

アプリを入れる

App Store／Google Playで「Gemini Notebook」。Googleアカウントでログイン

2

資料を開く

上の「公募要領をダウンロード」を押すか、紙ならQRを読み取ってPDFを開く（Webページのままでもよい）

3

共有 → Gemini Notebook

画面の共有ボタン（□に↑、または<）を押し、一覧から Gemini Notebook を選ぶ

4

ノートを選ぶ

「新しいノートブック」を作るか、既存のノートを選んで追加。すぐ質問できる

パソコンなら

PDFをダウンロードして、Gemini Notebook の「ソースを追加」にドラッグする。または「ウェブサイト」を選んで、上のページのURLを貼り付ける（PDFを保存しなくても追加できる）。

コピーして使う

この補助金の「補助対象経費」と「対象外経費」を一覧表にしてください。それぞれ根拠となる記載箇所も示してください。

コピーして使う

前回の公募要領から変わった点を、自社への影響が大きい順に5つ挙げてください。

自社の計画が補助対象になりそうか、一次確認する

コピーして使う

次の取り組みを考えています。この補助金の対象経費になりそうか、根拠となる記載と一緒に答えてください。判断できない場合は「資料からは判断できない」と答えてください。
取り組み：店舗の看板を新しくして、集客を増やしたい。

試してみる例	見どころ
店舗の看板を新しくしたい	対象になりうる経費の区分と条件が、根拠付きで出るか
ネット販売用のホームページを作りたい	上限や条件（割合の制限など）まで拾えるか
中古の軽トラックを買いたい	**対象外の可能性を、根拠付きで答えられるか**（汎用品・車両の扱い）

最終判断は人がする

AIは「根拠のページを素早く探す係」。迷うものは公募要領の本文と、事務局・専門家に確認する。公募回ごとに要領は変わるので、**ノートブックの資料は必ず最新版に入れ替える**。

4. RAGの限界：Gemini Notebook は「調べて答える」まで

- 自分から仕事を始めない（毎回、人が質問しに行く）
- 書類を作ってフォルダに保存したり、メールの下書きを作って次の作業に渡したりはしない

「決まった手順の仕事を、毎回同じ品質で、できれば自動で」こなすには、AIエージェント（A3）の出番になる。**まずGemini NotebookでRAGを体で理解し、業務によってはAIエージェントまで使いこなす**——これが仕組み化の道筋。

データの扱い（個人アカウントの注意）

Gemini Notebookは登録した資料をAIの学習に使わない。ただし**個人のGoogleアカウントで回答に👍👎を押すと、その会話と資料が人の確認に回り、最長3年保存される**。お客様・取引先の情報を入れるなら、Google Workspace のアカウントで使う（→ D1）。会社の共有ドライブを資料室にする方法は、W2 の5章。

出典（2026年9月確認）

- NotebookLM is now Gemini Notebook（Google） (https://blog.google/innovation-and-ai/products/gemini-notebook/notebooklm-gemini-notebook/)
- Privacy and Terms of Use in Gemini Notebook（Googleヘルプ） (https://support.google.com/gemininotebook/answer/17004255?hl=en)
- How to Use Gemini Notebook: 2026 Guide (https://aiweekly.co/learning-ai/generative-ai/how-to-use-notebooklm)（無料枠の数値）
- Gemini Notebook モバイルアプリの使い方（Googleヘルプ） (https://support.google.com/gemininotebook/answer/16296687?hl=ja)（共有からのソース追加）
- 小規模事業者持続化補助金事務局（商工会地区）申請ページ (https://official.jizokukanb.com/shinsei)